

アルジェリア政治・経済月例報告
(2022年1月)

2023年2月
在アルジェリア日本国大使館

内政

- 4日、テブン大統領は平和のための社会運動(MSP)のマクリ党首と会談。同党首は野党と大統領府との関係を称賛し、本会談の実施を評価した。
- 8日、テブン大統領は閣議を開催。人身売買対策防止に関する法案の審議が行われた他、関係省庁により国内市場における肥料の供給、海水淡水化、またラマダンの準備に関する議論を実施。
- 10日、共和国調停者と汚職対策高等機関が汚職に関する市民による情報提供等の協力に関する覚書を署名。
- 10日、国民評議会(上院)は資金洗浄及びテロ資金対策防止法案を採択。
- 12日、テブン大統領は、ネルソン・マンデラ氏の名を冠したバラキスタジামの落成式に出席。翌日、ベンアブドゥルラフマーン首相は、同スタジামでのサッカー第7回アフリカ・ネイションズ・チャンピオンシップ(CHAN)の開会式に出席。
- 15日、青年高等評議会の青年フォーカスグループが同評議会のロードマップ策定に向けて活動を開始。
- 16日、エネルギー・鉱業省はイナメナス事件10周年記念行事を現地にて実施。アルカブ・エネルギー鉱業相及びシェングリハ国軍参謀総長が出席。
- 19日、テブン大統領は政府・県知事会合にて、経済改革における地方の役割を強調。今後各県は企業数と新規雇用の創出等の経済的比重やGDPへの貢献度によって分類されるとし、地方自治に関する規則の改定、並びに地方議員向けの研修の実施につき発表。
- 24日、テブン大統領は閣議にて、麻薬及び向精神薬の取引及び使用防止に関する法律案、並びに国の保有する経済用地の付与の条件及び手続に関する法律案につき審議。また、早急に自給自足を達成するべく、農作物、特に小麦の生産量増加や、海外専門家との協力による鉄道産業の合併企業設立の加速を指示。

外交

- 1日、ブガリ国民議会議長は、ルラ・ブラジル大統領の就任式に出席。テブン大統領からの祝意を伝達。また、同機会にブガリ議長はカーポベルデ大統領と会談。
- 3日、アルジェリア外務省は、イスラエル国家安全保障相によるアル・アクサー・モスク訪問に対し、「アル・アクサー・モスクを攻撃したイスラエル要人による挑発行動」として非難する表明を発出。
- 6日、ベルマフディ宗教・ワクフ大臣は、ベネディクト16世の死去に際してノートルダム・ド・アフリック大聖堂を弔問し記帳を実施。
- 8日、当国外務省はコミュニケにて、セネガル中部で40人の死者を出した大規模な交通

事故につき被害者家族に対する哀悼の意を表明。

● 9日、ベラーニ外務次官はルーマニアを訪問、アウレスク・ルーマニア外相と会談した他、第4回アルジェリア・ルーマニア政治協議に出席。

● 9日、当国外務省はコミュニケにて、ブラジルにおける同国議会の襲撃事件に対する強い非難を表明。

● 10日、ラマムラ外務大臣はテブン大統領特使としてマリを訪問。ゴイタ暫定大統領と会談した他、ジョップ外務大臣及びワゲ国民和解大臣と会談。

● 10日、ヘラディ国家経済環境評議会（CNESE）議長は、アラブ経済社会評議会等連合事務評議会オンライン会合を主催、同会合では「アラブ世界における水、エネルギー及び食料安全保障」をテーマとして議論。

● 11-12日、ラマムラ外相はコンゴ（共）を訪問。ンゲソ大統領と会談した他、AU10か国委員会（C10）会合に参加。次期C10閣僚会合につきアルジェでの開催がC10議長より提案された。

● 14-16日、ラジュブ・パレスチナ・ファタハ中央委員がアルジェリアを訪問。テブン大統領と会談した他、ラマムラ外相、グジル国民評議会（上院）議長及びブガリ国民議会（下院）議長と会談

● 14日、グジル国民評議会議長はティンドゥフ難民キャンプで開催されるポリサリオ戦線第16回大会に対し、西サハラに対する当国の立場を改めて明記した書簡を送付。

● 15日、テブン大統領はマクロン仏大統領と電話会談。新年の祝辞の他、テブン大統領の訪仏を5月に予定することで合意。

● 15-16日、ゴイタ・マリ暫定大統領の特使としてジョップ・マリ外相及びワゲ和解・平和・国民統一相がアルジェリアを訪問し、テブン大統領及びラマムラ外相と会談。

● 16日、ラマムラ外相はハーヴィスト・フィンランド外相と電話会談。春にアルジェで開催予定の第20回アフリカ・北欧諸国外相会合の準備につき議論。

● 16-17日、サン普森英国防省中東・北アフリカ担当参与（英空軍中將）がアルジェリアを訪問し、ベラーニ外務次官、国防省次官及びシェングリハ国軍参謀総長と会談。ベラーニ次官との会談では、本年中に実施が予定されている第2回戦略対話等の準備の重要性について強調。

● 17日、グジル国民評議会議長は、当地露大使と会談。同議長は3月19-20日にモスクワで開催される第2回露アフリカ国際議会会合への招待を受諾。

● 17日、ベラーニ外務次官は、クタジャール・マルタ外務次官と共に二国間定例政策協議を開催した。

● 22日、アルジェリア外務省は、スウェーデンにおけるコーラン焼却事案への非難声明を発出。25日、同省はオランダにおけるコーラン焼却事案への非難声明を発表。

● 22-23日、メローニ伊首相がアルジェリアを訪問。テブン大統領と会談し、友好善隣協力条約20周年に際した共同宣言に署名した他、経済及び技術協力に関する4つの了解覚書の署名式に参加。

● 22日、テブン大統領は、ガリ・ポリサリオ戦線書記長の再選に際して祝意のメッセージ

を発出。

● 22日、ラマムラ外相はリビアを訪問し、アラブ外相協議会合に出席。メンフィ首脳評議会議長及びマンゲーシュ外相のほか、ジェランディ・チュニジア外相及びムライヒー・カタール外務担当国務相と会談。

● 23-24日、シェングリハ国軍参謀総長は仏を公式訪問。ビュルカール仏統合参謀総長との会談を実施した他、マクロン大統領とも面会。24日にはルコルニュ仏軍事相と会談し軍事・安全保障協力関係の強化に資する共同ロードマップに署名。

● 21-23日にかけて、シソン米国務次官補（国際機関担当）がアルジェリアを訪問。ラマムラ外相、ザアラニ国家人権評議会議長及びテブン大統領と会談。

● 23日、テブン大統領はアール・サーニ・カタール首長及びムハンマドUAE大統領に対し、恒常連絡及び両国関係の更なる促進のためのメッセージを発出。

● 24-25日、バシリー・リビア担当国連事務総長特別代表兼UNISMI L代表がアルジェリアを訪問。テブン大統領及びラマムラ外相と会談。

● 25日、ラマムラ外相はボレルEU上級代表と会談。

● 25日、第9回アルジェリア・仏政治協議がアルジェにて開催。ベラーニ外務事務次官がデコット仏外務事務次官と会談。

● 26日、ベンアブドゥルラフマーン首相は、ミーカーティー・レバノン首相と電話会談。二国間関係の見通しの他、二国間協力に関する仕組み及びパートナーシップの強化について議論。

● 27日、当国外務省は、ヨルダン川西岸ジェニン地区におけるイスラエル軍の急襲作戦につき非難声明を発出。

● 26-30日、アルジェにて第17回イスラム協力機構加盟国議会連合会合が、「イスラム世界と現代化及び発展の挑戦」をテーマとして開催され、アルジェ宣言を採択した。同宣言ではパレスチナへの支持が強調された他、議長友好委員会の設立、デジタル変革に対応するための研究センターのアルジェへの設置、またスタートアップのインキュベーターの設立等が発表。

● 28日、第1回アルジェリア・モーリタニア安全保障混合委員会会合がヌアクショットにて開催。

● 30日、テブン大統領はサバーハ・クウェート首長及びサルマン・サウジ国王宛てにメッセージを発出。

● 31日、当国外務省は、パキスタンのモスクにおけるテロ爆発事件及びブルキナファソでのテロ事件につき非難声明を発出。

● 31日、テブン大統領はプーチン大統領と電話会談し、5月にテブン大統領が訪露することで合意。

● 31日、テブン大統領はカタール首長の個人代表と会談。

経済

● 2日、観光・手工業相臨席の下、HTTグループとカタールのRetajグループの間で、

宿泊分野における協力・投資協定に署名。同日、ベンアブドゥルラフマーン首相はRetajグループ会長の表敬を受けた。

●5日、カッサリ財務相は、2023年予算法の各省庁各公共機関予算内示会議の議長を務め、2014年から中断している300の公共プロジェクトの段階的凍結解除とこれらプロジェクトに1200億ディナールを割り当てると述べた。

●5日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、国民議会（下院）にて、現在輸入しているパイプライン用鉄鋼をエル・ハジャール鉄鋼コンビナートで製造する計画を同省と産業省間で合意したと述べた。

●6日、ソナトラック総裁は、雑誌のインタビューで2023～2027年まで総額400億ドルの投資計画の内訳は、炭化水素探鉱と生産300億ドル、石油精製、石油化学、ガス液化プロジェクト70億ドル、エネルギー転換10億ドルとなる旨述べた。

●7日、ザグダール産業相は、ティンドウフ県ガラ・ジェビット鉄鉱石探掘は、アルジェリアの鉄鋼業の成長の糧となり、鉄道網、コンテナ製造、ガスパイプラインなどのメガプロジェクトの実施を可能にすると述べた。

●15日、冶金・製鉄分野戦略的国営企業IMETALグループの報告書によると、2021年度の売上げが、1,545億4,800万ディナールを達成し、生産量は、2020年比で270%の伸びを達成した。2025年までに生産量を1,000万トンに増やす計画としている。

●15日、国営セメント公社（GICA）子会社セメント・デリバティブ・カンパニー・オブ・クレフ（ECDE）は、2023年、アフリカ、ヨーロッパ、ラテンアメリカの国々に約300万トンのセメントとクリンカーを輸出する計画を示した。

●16日、商業・輸出促進省輸出監視・促進局次長は、2022年1～11月の貿易収支は181億ドルの黒字であり、特に非炭化水素の輸出は60.6億ドルで前年同期比36%増となり、総輸出のうち非炭化水素が11%を占める歴史的な水準となったと述べた。

●16日、アルジェリア投資促進庁（AAPI）は、ワンストップ窓口を通じて、農業、再生可能エネルギー、工業分野の29の投資プロジェクト920億ディナールが登録されていることを明らかにした。

●19日、ザグダール産業相は、政府会合において、国営企業の2022年の生産は、2021年比13.3%の生産増、13.9%の売上高増を記録したと述べた。

●23日、テブン大統領は伊を欧州におけるアルジェリアのエネルギー流通拠点とする野心について言及し、伊及び欧州に水素、アンモニア、電力を輸送する新しいガスパイプラインの建設を検討していることを示した。また、3月からのフィアット車のアルジェリアでの生産開始を発表。

●23日、アウン製薬産業相は、アルジェで開催された第9回国際製薬会議において、2024年末までに市場ニーズの80%を国産品でカバーすることを目指すことを表明した。

●26日、アルカブ・エネルギー・鉱業相は、ハメル・ガス輸出国フォーラム（GECF）事務局長と面会し、世界のガス市場の状況や第7回GECF首脳会議の準備状況について意見交換を行った。

- 29日、レジグ商業・輸出促進相は、アルジェリア商工会議所（CACI）主催の展示会に出席し、アルジェリア産の電子製品・家電製品輸出は、2021年に36か国へ約4,500万ドルを達成したと発言。
- 29日、国営通信APSは、当国と中国企業のコンソーシアム（CHEC-Meditram）に委託された、オラン港コンテナターミナル拡張工事が完了し、コンテナ数4,000～8,000個の大型船（パナマックス）の受け入れが可能であるとし、第一段階で年間50万個の処理能力を持ち、将来的に年間120万個の処理能力に増加する予定であると報じた。
- 29日、ザグダール産業相はアルジェを訪問したオスマコフ露産業貿易副大臣と面会。

治安

- 12日、国軍は1日から10日までの掃討作戦でテログループ支援者13人を逮捕するとともに、ジェルファ県、セティフ県、ブーメルデス県及びティパザ県にて隠れ家1か所と手製爆弾10個を発見し破壊したと発表。
- 18日、国軍は11日から17日までの掃討作戦でテログループ支援者9人を逮捕したと発表。
- 18日、当国南部ボルジ・バジ・モクタール県でテロリスト1名、「ベイ・メラウイ（通称モクダド）」が軍当局に投降。同人は2012年にサヘル地域で活動するテロ集団に加入していた。
- 22日、憲兵隊はミラ県アイン・ベイダ・ハリシュ地区で、大量の偽札が車で運搬されているとの通報を受け検問を設置し、墓地の近くに捨てられた500万DA分の偽2千DA札を発見、犯人は逃亡中と発表。
- 25日、国軍は18日から24日までの掃討作戦でテログループ支援者11人を逮捕したと発表。
- 31日、軍は当国南部タマンラセット県で、テロリスト「アブデルラフマーン・スリーマーン」を逮捕したと発表。同人は2012年にサヘル地域で活動するテロ集団に加入していた。

（了）